http://www.gerodontology.jp/
日本老年歯科医学会 Facebook
日本老年歯科医学会 Twitter
本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は，本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製，その利用等は，目的の如何および個人利用を問わず，本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。

Japanese Society of Gerodontology 1986

News Letter

No.44

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2021年6月30日発行

【本号のトピックス】

32回学術大会報告／各賞受賞者紹介／委員会だより(社会保険・規程)
31回ECG参加報告／支部だより／33回学術大会のご案内／学会だより

第32回学術大会が盛会裡に終了しました！

大会長　河相安彦
(日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座)

COVID-19 の収束が遠いことから，第 31 回に引き続き WEB 開催となりました。メインテーマ「人生 100 年時代に老年歯科医学ができること」に沿った特別講演および教育講演と 10 のシンポジウムを通した，秀逸な講演と活発なディスカッションが繰り広げられました。

また，「Meet the President：理事長とランチ＆しゃべり場-ON LINE」では 308 名が理事長と多職種の皆様との交流に耳を傾け，また会期中 200 を超える「#JSG21」をつけたツイートが投稿されました。まさに「一体感を，そしてインタラクティブに」です。

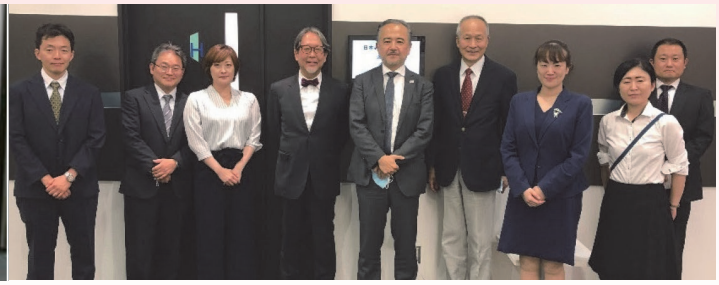
2 年に一度の老年学会との合同開催は，通常大きな会場を行き来するところを，ご自宅などで，またオンデマンドでゆっくりプログラムをご覧いただけたのではないでしょうか。これまた，いつでも，「ど·こ·か·ら·で·も」です。

おかげさまで 1,660 名という，かくも多くの参加登録をいただきましたこと，心より御礼を申し上げます。これも，水口俊介理事長をはじめ理事，代議員，本学会会員の皆様，協賛企業の皆様，運営事務局と学会事務局の皆様のご支援の賜物であり深く御礼を申し上げます。

開会式での河相大会長および水口理事長

閉会の辞を述べる
平野準備委員長

名古屋配信会場

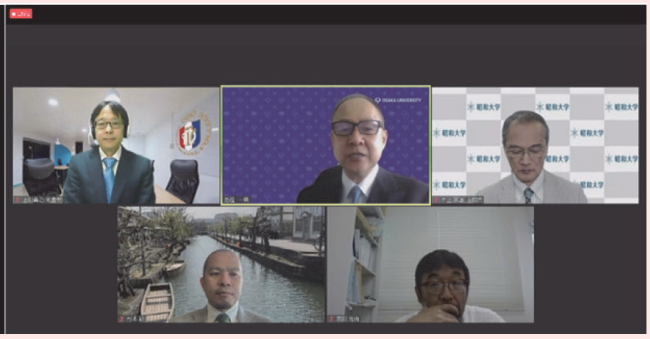


東京配信会場

特別講演（講師：ソコロワ山下聖美先生）

教育講演（講師：DRs Mili Doshi and Vicki Jones）

特別シンポジウム



シンポジウム１

シンポジウム３

シンポジウム５

国際シンポジウム

歯科衛生士シンポジウム

第32回日本老年学会総会 合同セッション 優秀賞受賞

合同セッション審査員による審査の結果，本会会員のエントリー演題が優秀賞を受賞しました。

《優秀賞》合同 3-1（歯）

「口腔乾燥感が身体的フレイルの発現に与える影響の検討―地域在住高齢者における５年間の縦断研究―」

小原由紀（東京都健康長寿医療センター研究所）

※この他の受賞演題は第 32 回日本老年学会総会ホームページに公表されております。

小原先生おめでとうございます！

2021年度各賞受賞者紹介

【功労賞】

櫻井　薫（東京歯科大学 名誉教授）

下山和弘（東京医科歯科大学 名誉教授）

【老年歯科医学賞（渡邉郁馬賞）】

『訪問診療での歯科臨床　在宅歯科医療をさらに高める Clinical Questions と Questions & Answers』

戸原　玄，中川量晴　編

日本老年歯科医学会　監修

医歯薬出版，2020 年 7 月発行

【優秀奨励論文賞（ライオンアワード）】

釘宮嘉浩（東京歯科大学老年歯科補綴学講座）

澤　幸子（公仁会鹿島病院）

【優秀課題口演賞】

中村純也（医療法人社団関田会　ときわ病院　歯科口腔外科）

宮下大志（日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学）

【優秀ポスター賞】

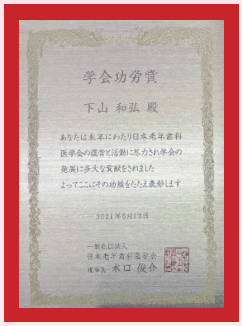
目黒郁美（日本大学大学院松戸歯学研究科・有床義歯補綴学）

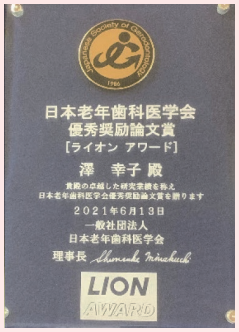
今井健一（日本大学歯学部細菌学講座）

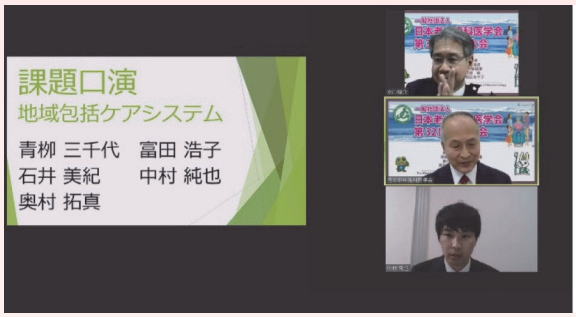
板橋志保（(一社)仙台歯科医師会　在宅訪問･障害者･休日夜間歯科診療所）

畑山千賀子（新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野）

※各受賞者のコメントは，「老年歯科医学」36 巻 2 号に掲載予定です。







受賞された皆様，おめでとうございます !!

委員会だより

社会保険委員会

委員長　菊谷　武

社会保険委員会では，日本老年歯科医学会の使命である「口腔健康管理の確立」「地域包括ケアシステムにおける歯科」「終末期医療への対応」を柱として，医療保険，介護保険などの整備を目的に活動を行っております。最近の活動としては，令和 3 年度介護報酬改定への意見，令和 4 年度の診療報酬改定に向けた技術提案書の作成を行いました。そのなかで，歯科オンライン診療，口腔機能低下症関連項目，地域包括ケアシステム関連項目などの技術提案について，関連委員会とも連携を図りながら議論を重ねて参りました。また，日本補綴歯科学会，日本口腔リハビリテーション学会，日本歯科保存学会，日本口腔インプラント学会との共同提案など，他学会との連携も行っております。老年歯科医学の発展には，社会保険の整備は必要不可欠であり，健康長寿社会を実現するうえで重要な役割を担っております。これからも関連委員会と連携協力して，国民の健康増進に向けた取り組みを鋭意進めて参ります。

オンラインでの会議中の様子

規程委員会

委員長　阪口英夫

規程委員会では，日本老年歯科医学会にかかわる定款および規程・規則・細則・要項・申し合わせなどの制定・改廃にかかわる業務を行っています。具体的には，各委員会などで検討し改変する必要性が上申された諸規程などに関して，その条文の整合性や他の規程との問題点などをチェックし協議を行うという業務です。諸規程はたいへん多くの項目があり，それぞれで使用されている用語や文言，年号の表記などあらゆるものを統一していかなくてはなりません。また，諸規程の改変では会員に対して条文がわかりやすいものであること，改変によって会員に不利益が起こる可能性まで含めて協議を行っています。現在はメール会議が主ですが，できるだけ迅速に協議結果を出せるように，委員全員が努力しております。今後も委員会活動にご協力いただければ幸いです。

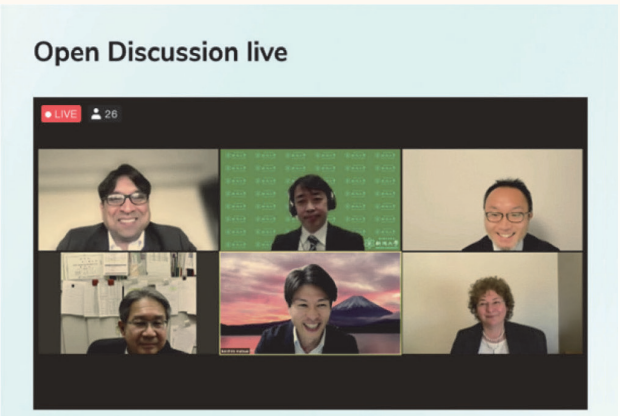
31st Annual Congress of European College of Gerodontology 参加報告

国際渉外委員　多田紗弥夏

2021 年 4 月 9，10 日に第 31 回目となるヨーロッパ老年歯科医学会（ECG）学術大会が開催されました。“Gerodontology: my new field of work” というテーマを掲げ，【Logistics and legal aspects】【Beyond the mouth】【Care concepts】【Patient’s perspective】という 4 つのセッションテーマのもと，多種多様な臨床専門家や研究者の招待講演が提供されました。

恒例イベントとなった ECG-JSG の交流企画は【Oral Hypofunction】と題して，松尾浩一郎先生（医科歯科大）が座長を務められ，JSG からは水口俊介理事長の基調講演を筆頭に，堀　一浩先生（新潟大）と岩崎正則先生（東京都健康長寿研）がご登壇されました。JSG が提唱する「口腔機能低下症の概念・検査・診断」を世界に向けて発信され，非常に大きな反響があったように思います．

昨年に引き続きパンデミックの影響でバーチャル開催となりましたが，世界各国から 600 名以上，また日本からは 100 名以上の参加者が集い，盛会のうちに終えられたとのことです。今年は日本語同時通訳も取り入れてくださり，ECG らしい日本人へのホスピタリティに溢れた集いとなりました。来年こそはきっと現地へ出向いて交流を深めたいですね。



毎年恒例となった ECG-JSG 企画講演の様子

支部だより

岐阜支部共催セミナー「岐阜県 多“食”種連携研究会」開催報告

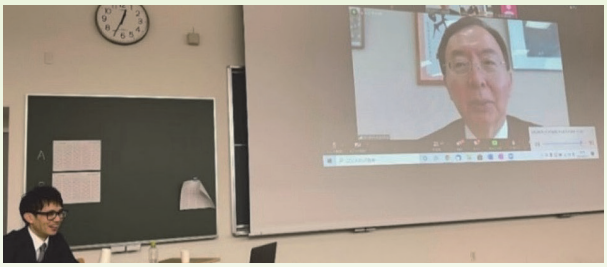
岐阜支部　谷口裕重

第1回岐阜県多“食”種連携研究会を2021年4月11日(日)9:30～14:05の日程で，ハイブリッド形式(配信場所：朝日大学医科歯科医療センター)にて開催しました。

本研究会は“食”で多職種が繋がり知識を共有することで，摂食嚥下における専門性の高い人材を育成することを目的に，本年度発足しました。今回はその第1回大会として，岐阜県の各職能団体(医師会，歯科医師会，歯科衛生士会他)からの後援を得て開催されました。開会挨拶の後，第1部は「岐阜県多“食”種連携のいま，そして未来」と題して，各職種の代表に「何を必要としているか」「どのような連携を取りたいと思っているのか」についてご講演いただきました。第2部は特別講演として，藤島一郎先生(浜松市リハビリテーション病院 病院長)に「摂食嚥下障害の昔，今，未来」とのタイトルでご講演いただきました。

今回はオンライン開催でもあったため，北海道から沖縄まで全国からの参加があり，参加者359名(オンライン308名，来場者32名，世話人11名，スタッフ8名)，協賛企業13社のご協力によって盛況のうちに終会となりました。本研究は，県下に幅広く高度な摂食嚥下医療を普及させるために，今後も定期的に研究会，研修会を行う予定です。

第1部「岐阜県多“食”種連携のいま，そして未来」



第2部「摂食嚥下障害の昔，今，未来」
藤島一郎先生の特別講演

埼玉支部 WEB セミナー開催報告

埼玉支部　永尾　康

2021年5月27日(木)に，医療法人永寿会陵北病院副院長 阪口英夫先生を迎え，「非経口摂取患者さんに携わる皆さんへ」と題し，経口摂取していない患者さんの口腔管理を中心に講義をしていただきました。人は経口摂取ができなくなると，剥離上皮膜が出現し，病的な状態になることや，口腔機能が低下して口腔汚染が顕著になることが示され，その口腔を良い状態に保つようなケアをどのようにして行っていくかを懇切丁寧に解説していただきました。このセミナーは雪印ビーンスターク(株)の協力と日本病院歯科口腔外科連絡協議会の後援をいただき，広く開催案内ができたおかげで，歯科関係者だけでなく，看護師・言語聴覚士などの職種を含む約6,000名が参加し，盛況のうちに終わることができました。非経口摂取者口腔管理の重要性が広く知られる一助になったと思います。

開催案内のはがき

北海道支部主催セミナー「第 20 回北海道口腔ケアセミナー」開催報告

北海道支部　山崎　裕

2021年5月29日(土)に第20回北海道口腔ケアセミナーを北海道支部との共同で開催しました。ちょうど，北海道が全国1～2位のコロナ新規感染者数を出していた時期でしたが，全国から170名が参加されました。今年度は枝広あや子先生(東京都健康長寿医療センター)に「認知症と共に生きる人のために私たちが出来ること～口・食・生活の支援～」，山根由起子先生(旭川医科大学)に「摂食嚥下機能の低下や障害に伴う口腔ケアの必要性」をそれぞれご講演いただきました。どちらの講演もたいへんわかりやすく説明していただき，会員にとって有意義なものになりました。

講演中の枝広先生(上段)と山根先生(下段)

第33回学術大会のご案内

大会長　小野高裕
（新潟大学大学院包括歯科補綴学分野）

一般社団法人日本老年歯科医学会 第 33 回学術大会を下記の要領で開催いたします。大会テーマは，高齢者の健康と生きがいを支える口腔機能への想いと，コロナ禍が終息し久しぶりで皆様と語り合い新潟の美味を楽しんでいただきたいという願いを込めまして，「噛んで 味わって 語り合おう 老年歯科 in 新潟」とさせていただきました（ただ状況によりましては，開催方法を変更いたします）。どうか奮ってご参加ください！

会　期：2022年6月10日(金)，11日(土)，12日(日)
会　場：りゅーとぴあ 新潟市民文化会館
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

内　容：特別講演，シンポジウム，課題口演，一般演題（口演・ポスター）など企画多数

学 会 だ よ り

学会公式キャラクターの名前が決まりました!!

キキ（長寿の喜寿から喜喜）

もも（長寿の百寿から百）

名前には本会活動や会員のみならず，高齢者の方々を含む皆様が明るく楽しく末永くの願いを込めております（優秀賞：小峰里子さま談）。第 32 回学術大会閉会式において，名前公募に応募いただいた方への表彰式を行いました。たくさんのご応募，ありがとうございました。

支部セミナーのご案内

岡山支部共催「病院歯科介護研究会 第 23 回総会・学術講演会」

日　時：2021 年 11 月 7 日（日）9:55～16:20
WEB開催+オンデマンド配信(11/8～12/8)
主　催：病院歯科介護研究会
★詳細は学会ホームページでご確認ください。

Gerodontologyのimpact factor 2020が2.980に

本会の公式英文誌Gerodontologyの最新impact factorの発表がありました。前回の1.339(69/91)から，2.980(30/94)に大幅上昇しております。世界的な高齢者歯科への関心の盛り上がりを反映しているものと思われます。
本会の存在感を世界に示すためにも，皆様のご投稿をお願いします。

編集後記

今学術大会においても広報委員はSNSによる発信に注力しました。新しい試みとして，いろいろな職種の方を集めて理事長とネット上で懇談するというMeet the Presidentを企画し，リアルタイムで配信しました。開始前の不安が嘘のように話は盛り上がり，学会としての課題も見つかったように思います。今後もいろいろな方法で広報活動を行っていきたいと思っています。（織田展輔）

発行人　水口俊介
編　集　(一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局　〒170-0003　東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル　(一財)口腔保健協会内
E-mail　gakkai30@kokuhoken.or.jp